

卒業レポート見本

(H25年度卒業生)

板橋グリーンカレッジ卒業レポート

教養、専門両課程を受講し、次の3課程が印象に残りました。

- 1) 教養課程では、大東文化大学文化部教授 河野 芳英先生の「大人のためのイギリス児童文学～ピーターラビットを中心に」
- 2) 次いで専門課程で二つ、文京学院大学生涯学習センター講師 五條吉和先生の「～神話と宗教」
- 3) そして、東洋大学社会学部教授、王 亜新先生の「中国語とその周辺」です。

最も、関心を持ち、勉強になりましたのが、王先生の授業で、これについて述べてまいります。

「古希の手習い」と称して、「書」を自習し始めて5年になります。作品は、書会から毎月届く手本誌から選び、「漢詩」を半紙、条幅紙に書き写します。年に数回開催される、書会と新聞社の書展に一般公募しております。

さて、隣国の国情や言葉をどれだけ知っているのかと、自問自答すれば、手本を頼りに漢詩を読んだ作家やその時代背景を、釈文により判ったつもりになって、先に進むと言う繰り返しである。

今回、「中国」と「中国語」について深く、広く、日本語と対比しながら学ぶことが出来た事は、まことに幸でした。

例えば……

- 1) 中国では、56ある民族の92%が漢民族で、漢語が実質標準語（通用語）になっている。
- 2) 「漢字」の歴史は、3500年の歴史があり、漢字誕生以来約8万字作られ、清の時代に編纂された「^{へんさん}康熙字典」には、47000字収録されているが、現在は日本を含め使用されている国、地域では、約1万字前後と言われている。
- 3) 漢字の変遷を見ると、象形文字から「漢字」に発展し、^{もと}元の字から「行⇒草⇒楷」書と変化した事を学び、これは現在の「文字改革」における「篇」や「旁」を「草書の書き方を正字として採用することで、解決した」と教わり納得致しました。等々。

学ぶことは、「人生を楽しくしてくれます」。これからも「カレッジ」での学習を通して学び、豊かな人生を送る所存です。 以上